

職員の皆さんへ

新春を健やかに迎えのここと存じます

新年早々に能登半島地震には、お正月の気分も萎えた感じです。コロナが緩和され今年こそ明るい気分でのスタートを期待していただだけに、今年も楽観は許されない予感がします。地震で亡くなった方々や被災された方々には心からお悔やみ申し上げます。

今年も元旦に小林本部長、上山事務長と共に各ユニットのご入所者様のもとへ新年のご挨拶をさせていただきました。共同生活室にお揃いの皆さんの元気澆刺の姿に接し私達も元気を得ました。昨年までは、クラスターによって控えめな面談であったことを思い返すと感慨無量。また、各フロアとも清掃が行き届き清潔感も感じました。面会されたご家族も同じ印象を持たれたと思います。

このことは、また昨年暮れに近隣施設の新旧事務長が来られた時にも、清掃が行き届いていることの高い評価を受けました。人手不足の中での職員の清掃の努力は負担になりますが、必ず選ばれる施設として高稼働率にも結びつくものと信じます。

今年も又、人材確保に全力を注ぐと共に、新たに ICT 導入による業務負担の軽減に取り組んでいきたいと思ひます。

よろしくお願ひいたします。

令和6年1月26日

ちとせ・ほほえみ医療福祉グループ
代表 小林 豊機

